

「第2期岩手県スポーツ推進計画（2024～2028）」の策定（計画案）について

1 計画の策定方針について

スポーツ基本法に基づく「地方スポーツ推進計画」である「岩手県スポーツ推進計画（2019年度～2023年度）」が令和5年度までの計画期間となっていることから、次期計画（2024年度～2028年度）を策定する。

2 素案からの主な変更点について

- (1) データを最新のものに修正。
- (2) 素案に対する意見を一部反映し修正。（「スポーツにおける女性の活躍推進」、「競技力向上を支える環境の整備（スポーツ・インテグリティの確保）」の主な取組内容を追加等）
- (3) 素案の見直しによる修正

3 素案に対する意見等の反映状況について

区 分	岩手県スポーツ 推進審議会 (11/14)	市町村、関係団 体等 (10/31～ 11/16)	12月県議会 常任委員会 (12/7)	教育委員会 協議会 (12/13)	パブ・コメ (12/15～1/15)	総合教育会議 (1/15)	子どもからの意見 (教育委員会アン ケート調査)	計
A（全部反映）	4	1	1	1		2		9
B（一部反映）	2	1						3
C（趣旨同一）		6	2	2	4	3	24	41
D（参 考）	2	15	2			5		24
E（対応困難）		2						2
F（その他）	1	5	9					15
計	9	30	14	3	4	10	24	94

※素案の見直しによる修正 5件

○主な意見の反映状況

施策柱・展開の方向	発言時期	意見等	反映	反映内容
2 共生社会型スポーツの推進 (3) スポーツにおける女性の活躍推進	岩手県スポーツ推進審議会	女性の <u>アスリート</u> 、もしくは、 <u>アスリートをリタイアした後の活躍の場の設置</u> というような、 <u>女性の役員等での活躍やリーダーの育成とか、活動の場の設置</u> とか、もう少しはつきり特出したほうがいいと思いますので、ご検討いただきたい。	B (一部反映)	「○ <u>アスリートとして活躍した女性等が、将来、指導者やスポーツ団体の役員として活躍できる環境づくりを進めます。</u> 」を主な取組内容に追記した。
3 国際的に活躍する競技スポーツの推進 (3) 競技力向上を支える環境の整備	12月議会 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>スポーツ・インテグリティの関係で、スポーツに対して指導者の指導を超えたものが行われているという現状があります。それに対して、スポーツという観点で、どのように改善を進め、どのような事業を展開しようとしているのか。</u> ・<u>前の計画と変わって、新しいこの計画の中でどのような形で位置づけ、どのような実効性のある対策を講じるのか。</u> 	A (全部反映)	<p>○ <u>スポーツ・インテグリティを確保するため、県体協と連携し、J S P O等が表明した「NO! スポハラ」の実現に向け、競技団体、指導者をはじめ、アスリートや保護者等を対象とする研修などにより、スポーツ現場での、暴力行為、暴言、差別等の未然防止やアンチ・ドーピングの徹底を図ります。</u></p> <p>また、<u>問題事案が発生した場合は、県体協の「相談窓口」の活用などにより、関係団体との連携を密にしながら迅速かつ適正なサポートを図ります。</u></p> <p>○ <u>県体協と連携し、競技団体における関係法規や倫理規定等の遵守やスポーツ団体ガバナンスコードの自己説明・公表などによる健全な組織運営の取組を促進します。また、PDCAサイクルでの点検評価の実施などによる競技団体のマネジメント能力の向上を支援します。</u></p> <p>・<u>下線部分を主な取組内容に追記した。</u></p>
	教育委員会協議会 総合教育会議	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>スポーツにおける暴力行為など、実際何かあった時にどういう対応となるのか。</u> ・<u>スポーツをする側も指導する側も双方の立場共に安心して取り組めるように、何かあったときの窓口、それぞれを支援する体制が必要だと思っております。</u> 		

○素案の見直しによる主な修正点

施策柱・展開の方向	発言時期	検討結果	反映	反映状況
1 ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進 (4) スポーツに関わる多様な人材の確保・育成	素案再検討	・スポーツボランティアを増やす取り組みについて記載する必要がある。	A (全部反映)	○ スポーツボランティアへの参加を促進し、活動の場を提供するとともに、大会情報を発信するなど、 <u>ボランティア活動を行うための環境整備に取り組みます。</u> ・下線部分を取組みの方向性に追記した。 「○ ラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催、日本スポーツマスターズ2022岩手大会など大規模大会に参加したスポーツボランティアの方々が、今後の大会やイベント等でのボランティア活動に参加するための環境整備に取り組みます。」を主な取組内容に追記した。
4 地域を活性化させるスポーツの推進 (1) 地域の活力につながるスポーツの推進	素案再検討	・単に大会や合宿誘致を進めるだけでなく、例えば「教育旅行」という観点も取り入れ、「付加価値」をつけることによって、本県の強みを生かした誘致活動を進める必要がある。	A (全部反映)	○スポーツ大会や合宿の誘致等をマネジメントする人材を育成するなど受入態勢を整えるほか、 <u>本県の豊かな自然や世界遺産、スポーツアクティビティなど魅力ある地域資源に加え、震災学習なども紹介しながら、首都圏での合宿相談会を実施するなど、県内各地において大会・合宿の誘致を効果的に進め、各種競技の国内拠点を形成します。</u> ・下線部分を主な取組内容に追記した。

4 今後のスケジュール（予定）

- ・令和6年2月6日（火） 岩手県スポーツ推進審議会
- ・令和6年3月中旬 岩手県スポーツ推進審議会からの答申
- ・令和6年3月18日（月） 2月議会常任委員会
- ・令和6年3月下旬 策定